

人と自然をつなぐもの

愛(藍)と苧麻(からむし)展

出羽の織座では消え去った布を復元すべく、山野に自生する種々の材料を採取し甦らせて来ました。

植物から人の手技のみで糸を作り、手織りで織り上げ、歴史と風土の中で育まれ、人の営みの中で作られたものです。

この度は、NHKの大河ドラマ「天地人」でお馴染みの「直江兼続」や米沢藩中興の祖と言われる「上杉鷹山」も大いに栽培を奨励した青苧(からむし)を原料とした「上布」の古作品を展示します。又、復元した数々の作品もご覧頂きたいと思っています。

*尚、希少原始布に熟練の職人技を酷使した、正藍絞り染の「菅原匠氏」と正藍型染の「田中昭夫氏」の作品も特別に展示いたします。

*古の人たちが丹精込めて作った美しい作品をご覧になり、少しの間コロナウィルスを忘れて鑑賞して頂きたいと思っています。

*その他の展示内容

梶布、いらくさ布、からむし布、ぜんまい織、紙布、琴糸織、津軽こぎん刺、南部菱刺などの帯、着



こんあさじししょうくばいつるかめちようかたびら
紺麻地松竹梅鶴模様の帷子



左から、正藍型染帯・正藍絞り染帯、小物三点は正藍型染



繊維を撚りつなぐ「糸績み(いとみ)」

2020年7月20日(月)～7月23日(木)

10:00～18:00 入場無料

*最終日は16:00まで(入場は閉場の30分前まで)

会場：東京交通会館 2階ギャラリー

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-10-1

TEL 03-3215-7962 (会場直通)

携帯 090-3363-4123 (山村)

(問い合わせ) 主催：原始布・古代織参考館

原始布織工房・出羽の織座

山形県米沢市門東町1丁目1-16

電話：0238-22-8141 FAX：0238-22-8142

Eメール gensifu@guitar.ocn.ne.jp